



情報の共有を通して、様々な活動の充実や発掘を目指しています。
みなさんからの積極的な情報提供が、元気なまちを創るもとになるのでぜひ
みなさんの思いと一緒に情報をお寄せください!

「かわらない会」

新規登録団体
～紹介～

平成31年3月に紀宝町で初めて介護保険新地域支援事業通所のサービス事業(説明①)「かわらない会」が立ち上がりました。毎週月曜日10時～13時まで(参加費500円)、鶴殿老人憩いの家「讚寿荘」にて開催しています。

内容は、参加者とボランティアスタッフみんな
で決めます。昼食(毎回)・ポール体操・レクリ
エーション・物づくり(写真①)など…。
(2カ月に1回はお出かけも企画しています。)

対象者 鶴殿地区にお住まいで・・・
①介護保険 要支援1、2の方
②介護保険 総合事業対象者
③65才以上の方
*③は現在、定員に達しています

(説明①)

平成27年の介護保険制度の改正で、介護
事業所の担い手不足や高齢化もあり、地域の
高齢者をもつと地域住民みんなで支えてい
こうという仕組みができました。



①



(集合写真)

事務局 紀宝町社会福祉協議会
担当 西那 32-0957

ゴーヤの苗を植えました♪♪

「きぼらんせ」運営委委員さんから、福祉セ
ンター1階事務所前にゴーヤを植え、夏を涼し
くしのける「緑のカーテン」を作りましょ!と
提案していただきました。早速、委員さんと個
人ボランティアの皆さんで土づくり、苗植え、
ネット張りの作業をしていただきました(写真
①)。水は、放課後児童クラブの子ども達が毎
日頑張ってくれています(写真②)。

7月には、ゴーヤも実り緑のカーテンに育つ
ことでしょう。今から楽しみです(*^^)v。



①



②



ボランティア団体助成事業 申請のお知らせ!

地域に根ざした活動をすすめるグループが、
さらに活発に活動ができるよう支援するため助
成金申請の募集を行います。

<応募締切> 令和元年6月17日(月)

<対象団体> ボランティア・市民活動センター
に登録している団体

<助成金額> 1団体 上限2万円まで
(総額 40万円)

<応募方法> 登録団体代表者に申請用紙を送付
しています。申請書に必要書類を添えて提
出して下さい。

紀宝町ボランティア・市民活動センター「きぼらんせ」
〒519-5701 紀宝町鶴殿 1074-1 紀宝町福祉センター
電話 (32) 0957 FAX (32) 0958
Eメール volunteer@kiho-shakyo.or.jp



掲載内容について
申し込み・おたずねは
左記へお問合せください



おもにボランティアグループや市民活動団体、NPO/NGO を応援する目的で行われる助成金の情報です。助成内容や応募条件、申請書の入手方法などは助成先によってこととなりますので、助成先又は社協へ お問い合わせください。

☆一般財団法人 松翁会☆



対象団体

法人・団体であること。法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とします。但し、個人および営利法人等は対象外とします。

申込締切

令和元年7月31日(水) 必着

助成金額

1団体60万円上限(総額700万円)

選考基準

- ①明確な企画(目的、内容、資金用途等)に基づく事業で具体的な計画を持つこと。
- ②推進体制が確立しており、自己資金の調達の努力をしていること。
- ③先駆的、開拓的事業を優先する。

問合せ先

〒100-0004
東京都千代田区大手町 1-5-5
大手町タワー地下1階
一般財団法人 松翁会
TEL: 03-3201-3225

shouhkai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/busine

ss/検索



☆公益法人 みずほ福祉助成団体☆

対象団体



3年以上の継続した活動実績のある非営利法人(社会福祉法人、特定非営利活動法人等)、任意団体、ボランティアグループ等、または国内の研究グループ(構成員5人以上)。

申込締切

令和元年7月5日(金) 必着

助成金額

事業助成は1件あたり20万円以上100万円を限度とし、研究助成は1件あたり100万円を限度とする。(総額3,300万円)

対象となる事業

日本国内において行う障害児者の福祉向上を目的とする事業及び研究。事業助成は、必要な機器等の物品及び車輛の購入費、設備工事費や障害児者への理解を深める活動(講演会、研修会など)等に必要な費用が対象。

問合せ先

〒100-0011
東京都千代田区内幸町 1-1-5
みずほ銀行内幸町本部ビル
(公財)みずほ福祉助成
TEL: 03-3596-5633

www.mizuho-fg.co.jp/csr/local/foundation/welfare.h

tml/検索



私ごとですが、4月に子どもが生まれ、二児の父になりました。果たすべき責任がより大きくなってきていることを実感しております。皆様と協力して支えあえる世の中と、あたたかい地域づくりに励んでいきたいと思っております。「ぎぼらんせ」の活動に参加させてもらい、目標達成に一步近付いたかなと思います。(岡 伸悟 運営委員)